

各 位

2025 年 4 月 22 日

会社名 湖 北 工 業 株 式 会 社  
代表者名 代 表 取 締 役 社 長 石 井 太  
(コード番号：6524 東証スタンダード)  
問合せ先 執行役員 広報・IR 部長 野里 浩平  
(TEL： 0749 - 85 - 3211)

### 当社取締役会の実効性に関する評価結果の概要について

当社は、取締役会の実効性を高め、企業価値を向上させることを目的として、その実効性に関する分析・評価を実施し、2025 年 4 月 22 日開催の取締役会において、実効性評価の結果確認を行いました。つきましては、評価結果の概要をお知らせいたします。

#### 記

#### 1. 取締役会評価の実施および公表の背景

当社は、実効性あるコーポレート・ガバナンスを実現することを目指し、2021 年 11 月に「コーポレートガバナンス基本方針」を定めました。基本方針第 19 条「取締役会の実効性評価」において、当社は取締役会の実効性を確保するべく、定期的に分析及び評価を実施し、その結果について適切に開示することとしています。

#### 2. 分析・評価の方法

対象者	取締役 8 名(うち社外取締役 3 名) 監査役 3 名(うち社外監査役 2 名)
対象期間	令和 6 年 1 月～令和 6 年 12 月開催の取締役会
実施方法	対象者にアンケートを実施
質問内容	大項目は以下の通り (1) 取締役会の規模と構成の状況 (2) 取締役会の運営に関する質問 (3) 取締役会の議題に関する質問 (4) 取締役会の支援体制に関する質問
評価方法	対象者の回答に基づき事務局にて集計を行い、集計結果は取締役会において分析・評価を実施

### 3. 取締役会実効性に関する分析・評価結果の概要

当社取締役会は、以下の評価より、その実効性は概ね確保されているものと判断いたしました。

- ✓ 取締役会は、事業内容や規模からみて、取締役3名、監査役2名の社外役員の構成バランスを含め、適切な体制になっている。
- ✓ 取締役会の開催頻度、所要時間、進行方法、審議時間等は概ね適切である。
- ✓ 取締役会の議題は、中期経営計画やリスクテイク等の議論がされており、概ね適切に選定されている。
- ✓ 社外取締役・監査役に対する情報提供・支援について、適切な体制となっている。

一方、以下の点については、改善すべき課題があることが確認されました。

- ✓ 取締役会に提出される資料には改善の余地があるものがある。
- ✓ 取締役会に上程される事項の事前の検討時間が十分確保できていないときがある。
- ✓ サステナビリティの取組みについては改善されたものの、一層の議論が必要である。
- ✓ 社外役員のみでの連携の機会が設けられているが、その頻度を増やす余地がある。

### 4. 今後の対応

当社は、2025年3月28日開催の第66回定時株主総会において、監査役会設置会社から監査等委員会設置会社へ移行しております。今回の取締役会実効性についての評価は監査役会設置会社体制のものでありますが、評価結果による課題を監査等委員会設置会社に置き換えて解釈し、今後も取締役会の実効性を高めていくための取組みを継続的に行い、改善に努めてまいります。

また、サステナビリティへの取組みについても、サステナビリティ委員会の活動を軸に強化してまいります。

当社は取締役会の実効性評価を今後も定期的実施することで、より充実したコーポレート・ガバナンス体制の構築と中長期的な企業価値の向上を目指してまいります。

以 上